

令和4年度 小学部 経営案

1 目指す児童像

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 元気に挨拶し、進んで体を動かす児童 | 元気な子 |
| (2) 興味をもって活動に取り組む児童 | がんばる子 |
| (3) 仲よく力を合わせて活動する児童 | おもいやりのある子 |

2 目標と重点事項

- (1) 学びの連続性を大切にした学習内容の改善と授業実践
- ・教科指導者間での取組を学部職員で共通理解し、学習内容を改善して授業づくりに生かす。
 - ・児童が身に付けた力を発揮できるように、子ども理解シートを活用し、各教科や合わせた指導等と相互に関連させた指導を行う。
- (2) キャリア教育全体計画を根拠に据えた、日常生活の指導と生活単元学習への取り組み
- ・日常的に健康状態を把握したり環境整備をしたりするとともに、家庭や関係機関と連携しながら指導の共通理解を図る。
 - ・児童一人一人の願いから目標を具現化し、意欲的に生活できるよう、児童と一緒にキャリア・パスポートを作成し活用する。
- (3) 児童が地域の中で育つことができるような、居住地校交流及び学校間交流の継続
- ・児童と保護者のニーズに応じた居住地校交流及び学校間交流を実施する。
 - ・居住地校交流及び学校間交流の相手校の教員と共通理解の上で、事前及び事後指導を行う。

3 指導の形態と週時数

(1単位時間 45分)

指導の形態		週 時 数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	7	7	7	7	7	7
	遊びの指導	4	2	/	/	/	/
	生活単元学習	4	7	8	9 (7)	9	9
教科別の指導	国語・算数	4	4	4	4 (0)	4	4
	音楽	2	2	2	2	2	2
	図画工作	/	/	2	2	2	2
	体育	4	4	4 (0)	4 (0)	4	4
特別の教科	道徳	*	*	*	*	*	*
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		*	*	* (4)	* (10)	*	*
合 計		26	27	28	29	29	29

- ・訪問指導（5年生1名）の主たる指導の形態は自立活動とし、月曜日と木曜日に各2単位実施し、週4単位時間を基本とする。また、儀式に参加した場合は特別活動とする。
- ・（ ）は自立活動の時間における指導を行う児童を対象とする。
- ・ * は教育活動全体を通して行う。